

部会名： まちで暮らすネットワーク ～地域生活支援部会～						
部会長（氏名・所属先）		矢田（保土ヶ谷区生活支援センター）		副部会長（氏名・所属先）：		佐野（恵和青年寮）
構成機関	相談支援従事者	2	就労支援センター		発達障害者支援センター	
	障害福祉サービス事業者	21	医療機関	5	教育関係機関	1
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体	
	当事者の家族	2	権利擁護関係団体・者		大学等	
	公共職業安定所		保健所・保健センター		保育所	
	児童相談所		身体障害者相談員		知的障害者相談員	
	民生・児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	3
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ	
社会福祉協議会		その他		合計	36	
年間目標	①当部会では、生きづらさのある方を対象として、分野横断で「まちで暮らす」ことを考えていく。 ②強度行動障害は児童期から成人期に移行する課題であり、ワーキンググループを通じて、課題共有から手立ての検討を目指して活動する。 ③ 予防的な観点から教育機関や児童分野の支援者、こども部会等との連携を模索する					
月	活動内容					会議開催日時
4月						
5月	【#1】地域生活支援拠点の説明、事例検討①（強度行動障害のある知的障害者の地域移行） ＝会場・区役所202会議室					5月8日 13:30～15:30
6月	○ワーキング（テーマ：強度行動障害の支援を考える） 会場＝地活ゆめ・ボランティアルーム					6月12日 16:30～18:00
7月	【#2】グループホームスタッフ交流会 会場＝保土ヶ谷区社協・多目的研修室 ○ワーキング（テーマ：強度行動障害の支援を考える） 会場：基幹相談【7月17日 17:00-18:30】					7月10日 13:30～15:30
8月	○ワーキング（テーマ：強度行動障害の支援を考える） 会場＝地活ゆめ・ボランティアルーム					8月14日 16:30～18:00
9月	【#3】事例検討②（知的障害/身体障害の重複児童ケース） 会場＝保土ヶ谷区役所 202会議室 ○ワーキング（テーマ：強度行動障害の支援を考える） 会場：区202会議室【15:45-17:20】					9月11日 13:30～15:30
10月	○ワーキング（テーマ：強度行動障害の支援を考える） 会場＝地活ゆめ・ボランティアルーム					10月9日 16:30～18:00
11月	【#4】短期入所事業所、活動ホームとの情報交換会 会場＝保土ヶ谷区役所 地下会議室					11月13日 13:30～15:30
12月	○ワーキング（テーマ：強度行動障害の支援を考える） 会場＝地活ゆめ・ボランティアルーム					12月11日 16:30～18:00
1月	【#5】 N・H・K連携事業（西区基幹・地活/保土ヶ谷区基幹・地活/恵和青年寮）の実践報告、 グループワーク 会場＝保土ヶ谷区役所501.502会議室					1月8日 13:30～15:30
2月	【#6】1年間の振り返り 会場＝保土ヶ谷区役所202会議室 ○ワーキング（テーマ：強度行動障害の支援を考える） 会場：区202会議室【15:45-17:30】					2月12日 13:30～15:30
3月	○ワーキング（テーマ：強度行動障害の支援を考える） 会場＝保土ヶ谷区役所202会議室					3月12日 15:45～17:30
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと ・R6年度から引き続き実施した、グループホーム交流会や短期入所/地活の意見交換会では、実践の共有だけでなく、お互いの実践を話し合う中で、今後の地域連携に向けてのヒントが多数得られた。 ・年間目標である「分野横断で、当事者がまちで暮らすこと」を考える機会を提供でき、地域課題の整理を進められた。 ・2つの事例検討（強度行動障害の方の地域移行、重複障害児童）を通じ、今後の多職種連携強化に向けて、素地を作れた。					
シェアしたい取組	運営上の課題 ・「まちで暮らす」を支える部会という性格上、各部会や分野を横断に刺す人【実働部隊としてコーディネートできる人材】が必要だが、マンパワーや連携のためのノウハウが不十分。コーディネートできる人材育成と配置が必要。 ・年間を通じて、決まりの日程（第二木曜の午後）で開催したが、テーマによって参加を呼びかけたい事業所の都合（たとえば児童関係機関は午前中だと参加しやすい）に合わせての柔軟なスケジューリングが出来なかった。					
	・強度行動障害のある方の支援を考えるワーキングを今年度発足し、区内外の入所施設やGHの見学等を交え、意見交換を始めた。施設からの地域移行をどう実践に落とし込むか、課題整理を行なった。 ・地域活動ホームや短期入所（宿泊型自立訓練を含む）を交えて、障害種別を越えての短期入所機能について議論する場を持たせた。		市域で共有・検討したい課題 ・拠点整備において、例えば緊急時体制整備のために、入所施設との調整を部会単独で担うのは難しい。拠点整備の実働部隊は3機関（区・生活支援センター・基幹相談）が妥当であり、各区で3機関から拠点担当が集まり、「拠点整備ワーキング（仮）」を別途作り、整備を進めたらどうか。 ・地域生活支援部会としては、地域におけるネットワーク強化や地域課題の整理やアイデア出しを行なうのが現実的。拠点整備における3機関と自立協役割分担や密な連携がカギと考える。市域で検討していただきたい。			